

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拓・BP・その他の別
京都市道高速道路 1・2号線	油小路線	L=7.4km	地域高規格	その他

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
31,300	4	阪神高速道路株式会 社 京都市

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成21年度		
単純合計	1,053億円	275億円	1,328億円
うち残事業分	107億円	51億円	158億円
基準年における 現在価値 (C)	1,168億円	106億円	1,274億円
うち残事業分	103億円	19億円	122億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成21年度			
供用年	平成23年度			
単年便益 (初年便益)	164億円	21億円	7億円	192億円
基準年における 現在価値 (B)	3,288億円	430億円	137億円	3,855億円
うち残事業分	747億円	114億円	29億円	890億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	3.0
経済的純現在価値（事業全体）	2,581 億円
経済的内部収益率（事業全体）	10.7%
費用便益比（残事業）	7.3
経済的純現在価値（残事業）	768 億円
経済的内部収益率（残事業）	41.1%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	31,300	±10%	6.6~8.0
事業費	107億円	±10%	6.7~7.9
事業期間	1年間	+1年	7.2